

事業評価シート（平成20年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	男女共同参画意識改革事業		
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課		
予算科目	01-030106-220000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	03	3 男女共同参画意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成19年度～平成28年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 公募市民委員、市民活動団体】		
目的・目標		事業の概要	
男女平等の意識啓発を推進し、男女共同参画に対する理解と認識が深まっています。		男女共同参画の推進に必要な意識改革を図るため、啓発講座などを開催し、情報誌を発行します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	啓発講座等開催回数						単位	回
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		12	12	12	12	12	12	
	実績		9	11					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	啓発講座等参加者数						単位	人
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	
	実績		1,630	1,402					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
男女共同参画フェスティバルの講演会、企画実行委員会「宙」の講座、市民活動団体との共催による講座、DV防止講演会などの開催により、男女共同参画に関する意識啓発をすることができました。									
平成20年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国の最重要課題として位置づけられている男女共同参画施策に関する事業であり、必要性は高い。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画の推進につながるものであり、有効性は高い。	● 高 ○ 低
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民活動団体との協働による講座等の企画実施については、会議数を限定するなどして、手法の効率化を確保していく必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 必要性、有効性、妥当性は高い。事業企画運営に伴う会議の開催回数や進め方を工夫するなどして効率性の向上を図る必要があります。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			啓発講座などの開催、情報誌の発行	啓発講座などの開催、情報誌の発行	啓発講座などの開催、情報誌の発行	啓発講座等の開催、情報誌の発行	啓発講座等の開催、情報誌の発行	啓発講座等の開催、情報誌の発行
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	2,769	2,640	2,832	2,952	2,952	2,952
事業費 (A)		0	2,769	2,640	2,832	2,952	2,952	2,952
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.81	1.15	0.80	0.80	0.80	0.80
	再任用 (人)	0.00	0.15	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	7,312	10,336	6,685	6,685	6,685	6,685
フルコスト (A+B)		0	10,081	12,976	9,517	9,637	9,637	9,637

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画に位置づけている事業であり、引き続き実施していきます。	
平成22年度取組方針	
市民活動団体や他機関との連携により事業効果を高めていきます。なお、22年度以降は、【実計】庁内男女共同参画推進事業を統合し、庁内周知を図ります。	
課長コメント	男女共同参画社会の実現には、なお一層の努力が必要であるため、男女平等の意識啓発を進めるにあたり、市民と一丸となった取り組みを継続していきたい。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	②：若干遅れている	①：予定どおり
主な取組と成果		男女共同参画フェスティバルの講演会、企画実行委員会「宙」の講座、市民活動団体との共催による講座、DV防止講演会などの開催により、男女共同参画に関する意識啓発をすることができた。	男女共同参画フェスティバルの講演会、企画実行委員会「宙」の講座、市民活動団体との共催による講座、DV防止講演会などの開催により、男女共同参画に関する意識啓発をすることができました。
検証結果	—	B：おおむね成果があがった	C：十分に成果をあげることができなかった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		必要性、有効性、妥当性は高い。事業企画運営に伴う会議の開催回数や進め方を工夫するなどして効率性の向上を図る必要がある。	必要性、有効性、妥当性は高い。事業企画運営に伴う会議の開催回数や進め方を工夫するなどして効率性の向上を図る必要があります。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	拡大して継続
取組方針		市民活動団体や他機関との連携により事業効果を高めていく。	市民活動団体や他機関との連携により事業効果を高めていきます。なお、22年度以降は、【実計】庁内男女共同参画推進事業を統合し、庁内周知を図ります。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

事業評価シート（平成20年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	あらゆる分野への参画推進事業		
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課		
予算科目	01-030106-230000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	03	3 男女共同参画意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成19年度～平成28年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 21世紀職業財団】		
目的・目標		事業の概要	
男女が自らの意思によって社会のあらゆる分野の活動に参画し、能力を発揮しています。		男女が自らの意思によって社会のあらゆる分野の活動に参画し、能力を発揮できるようにするため、各種講座を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	講座開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		3	2	2	2	2	2	
	実績		4	3					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	講座参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		80	60	60	60	60	60	
	実績		72	30					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
働く女性のためのキャリア開発講座、再就職準備ワークショップの開催により、社会参画の促進と能力発揮に資する機会を提供することができました。									
平成20年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国の最重要課題として位置づけられている男女共同参画施策に関する事業であり、必要性は高い。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画の推進につながるものであり、有効性は高い。	● 高 ○ 低
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	共催する財団との事業企画実施時における役割分担の確立など、プロセスの効率化を実現しています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。講座内容や実施時期、実施方法など検討し、講座参加者の増加を図っていきます。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			講座の開催	講座の開催	講座の開催	講座の開催	講座の開催	講座の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	150	140	100	100	100	100
事業費 (A)		0	150	140	100	100	100	100
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.19	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14
	再任用 (人)	0.00	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	1,766	1,431	1,170	1,170	1,170	1,170
フルコスト (A+B)		0	1,916	1,571	1,270	1,270	1,270	1,270

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画に位置づけている事業であり、引き続き実施していきます。	
平成22年度 of 取組方針	
関係団体や企業との連携により事業効果を高めていきます。	
課長コメント	男女共同参画を進めるためには、女性の指導的立場への参画拡大とともに、社会における能力発揮が必要となるので、様々な形での啓発事業を中心に目標達成に向け、引き続き実施していきたい。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		働く女性のためのキャリア開発講座、再就職チャレンジ講座の開催により、社会参画の促進と能力発揮に資する機会を提供することができた。	働く女性のためのキャリア開発講座、再就職準備ワークセミナーの開催により、社会参画の促進と能力発揮に資する機会を提供することができました。
検証結果	—	A：成果があがった	C：十分に成果をあげることができなかった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。講座参加者の増加につながるよう、講座内容の一層の充実を図っていく。	必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。講座内容や実施時期、実施方法など検討し、講座参加者の増加を図っていきます。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		関係団体や企業との連携により事業効果を高めていく。	関係団体や企業との連携により事業効果を高めていきます。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	女性に対する人権尊重事業		
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課		
予算科目	01-030106-240000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	03	3 男女共同参画意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	相談者	事業期間	平成19年度～平成28年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
相談者の不安や悩みが解消され、相談者が自分自身で解決の方向が決められるようになっています。		女性の不安や悩みを解決に導くため、相談窓口を開設します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	相談窓口開設日数						単位	日
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		243	243	243	243	243	243	
	実績	246	243						
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	相談件数						単位	件
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		560	620	620	620	620	620	
	実績	664	780						
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
相談窓口を243日開設し、780件の相談（来室相談221件、電話相談559件）を受け、女性の不安や悩みの解決に結びつけることができました。780件のうち、DV相談は113件、外国人からの相談は16件ありました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国の最重要課題として位置づけられている男女共同参画施策に関する事業であり、必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	相談者の問題解決を図るうえで、非常に有効であります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	相談者のニーズに十分対応でき、且つ、多くの市民の相談を受けることができるよう効率性の向上を図る必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

平成20年度に相談希望者への即時対応できなかった件数は378件ありました。今後、相談時間配分の工夫により効率性の向上を図るとともに、相談需要に迅速かつ円滑に応じられる相談体制の整備が課題となります。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			相談窓口の開設、 法律相談会の開催	相談窓口の開設、 法律相談会の開催	相談窓口の開設、 法律相談会の開催	相談窓口の開設、 法律相談会の開催	相談窓口の開設、 法律相談会の開催	相談窓口の開設、 法律相談会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	4,935	4,961	5,208	5,208	5,208	5,208
事業費 (A)		0	4,935	4,961	5,208	5,208	5,208	5,208
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.20	0.80	0.62	0.62	0.62	0.62
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	1,679	6,713	5,181	5,181	5,181	5,181
フルコスト (A+B)		0	6,614	11,674	10,389	10,389	10,389	10,389

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画に位置づけている事業であり、引き続き実施してまいります。相談需要に十分に対応できる人的体制整備は見込めないため、現状規模で対応してまいります。	
平成22年度の取組方針	
相談の質を維持したうえで相談時間を短縮することには限界があるため、相談需要に対応できるよう現状規模で事業運営にあたります。	
課長コメント	増加傾向にある女性相談に対応するための体制づくりをしていく必要があるが、財政面等で困難な部分は関連各課との連携を強化することで補っていきたい。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		相談窓口を246日開設し、664件の相談（来室相談227件、電話相談437件）を受け、女性の不安や悩みの解決に結びつけることができた。 664件のうち、DV相談は155件、外国人からの相談は32件あった。	相談窓口を243日開設し、780件の相談（来室相談221件、電話相談559件）を受け、女性の不安や悩みの解決に結びつけることができました。780件のうち、DV相談は113件、外国人からの相談は16件ありました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		平成19年度に相談希望者への即時対応できなかった件数は352件であった。今後、相談時間配分の工夫により効率性の向上を図るとともに、相談需要に迅速かつ円滑に応じられる相談体制の整備が課題である。	平成20年度に相談希望者への即時対応できなかった件数は378件ありました。今後、相談時間配分の工夫により効率性の向上を図るとともに、相談需要に迅速かつ円滑に応じられる相談体制の整備が課題となります。
事業の方向性	—	拡大して継続	現状の規模で継続
取組方針		相談の質を維持したうえで相談時間を短縮することには限界があるため、相談需要に十分対応できるよう相談員を増員して事業運営にあたる。	相談の質を維持したうえで相談時間を短縮することには限界があるため、相談需要に対応できるよう現状規模で事業運営にあたります。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	庁内男女共同参画推進事業				
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課				
予算科目	01-030106-250000	事業種類	○ ハード	● ソフト	
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち			
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ			
	03	3 男女共同参画意識を高める			
根拠法令等					
対象・受益者	市職員	事業期間	平成19年度～平成28年度		
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>				
目的・目標			事業の概要		
職員の理解と意識が向上し、すべての施策に男女共同参画の視点が反映されています。			庁内職員の意識向上、男女共同参画の率先行動を図るため、庁内推進会議と研修会を実施します。		

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	平塚市男女共同参画管理会議開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		2	2	2				
	実績		2	2					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	事業実施計画進捗度の平均						単位	点
	説明・算定式	「ひらつか男女共同参画プラン2007」の事業実施計画に位置づけた事業取組の進捗度の平均(3段階評価)							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		3	3	3				
	実績		2.8	2.7					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
庁内職員個々の意識向上や男女共同参画の率先行動を図るため、庁内推進会議や研修会を実施しました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	広範多岐にわたる男女共同参画施策の全庁的な推進を図るうえで不可欠な事業であり、必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画の推進につながるものであり、有効性は高い。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	男女共同参画を推進するための基本理念と意思統一を全庁的に図る手法として効率的であります。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。実施計画事業の一層の取組み推進につながるよう、会議や研修会などの効果的な実施、運営を図っていきます。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			庁内推進会議、研修会の実施	庁内推進会議、研修会の実施	庁内推進会議、研修会の実施			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	277	60	120	0	0	0
事業費 (A)		0	277	60	120	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.26	0.55	0.59	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	2,354	4,787	4,931	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	2,631	4,847	5,051	0	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画に位置づけている事業であり、引き続き実施していきます。	
平成22年度の取組方針	
会議や研修の内容をより一層充実させ、事業効果を高めていきます。	
課長コメント	市民の意識を改革するには、まず職員が男女共同参画について理解し、認識を深める必要があるため、管理会議の機能を活かし、率先行動に取り組んでいきたい。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		会議や研修会を行い実施計画事業の推進を図り、実施計画に位置づけた105事業のうち、計画どおりの実施が89事業、計画を下回っての実施が6事業、遅延又は未着手が10事業であった。	庁内職員個々の意識向上や男女共同参画の率先行動を図るため、庁内推進会議や研修会を実施しました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。実施計画事業の一層の取組み推進につながるよう、会議や研修会などの効果的な実施、運営を図っていく。	必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。実施計画事業の一層の取組み推進につながるよう、会議や研修会などの効果的な実施、運営を図っていきます。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	他事業と統合
取組方針		会議や研修の内容をより一層充実させ、事業効果を高めていく。	会議や研修の内容をより一層充実させ、事業効果を高めていきます。
事業区分	—	実施計画事業	—

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。